

学年	教科等	題材名	日時
第5学年	家庭科	作っておいしく食べよう	平成30年11月2日(金)5校時
本時に おける 「深い学び」	家庭科学習において「深い学び」を実現するために、「生活を見つめ、解決したい課題をもつ学習指導の在り方」と「学びと生活をつなぐ学習指導の在り方」の2点を追究していく。本実践では、まず、題材の導入における課題のもたせ方について提案したい。「なぜ日本人は、みそ汁を飲み続けてきたのだろう。」と問い合わせ、家庭や地域で飲まれているみそ汁について調べ、その理由について話し合わせる。調べるなかで、だし、実、みその組み合わせの豊富さや米飯との相性のよさ、栄養バランスのよさ等、みそ汁の多様性にふれて考えを広げたり、みそ汁のよさに気付かせたりしたい。そのうえで、家族が喜ぶみそ汁を作るために調べていきたい課題をもたせることで、子どもは、作れるようになりたい、追究したいという思いをもってみそ汁作りに向き合えるのではないかと考える。また、みそ汁調べにおいて、自分の家庭のみそ汁に入っているだし、実、みそは何かを問い合わせ、みそ汁について意外と知らないことに気付かせることで、自分の生活を改めて見つめ直し、学びと生活を結び付けて考えさせるようにしたい。		

生活を見つめ、解決したい課題をもつ学習指導の在り方

なぜ日本人は、みそ汁を飲み続けてきたのだろう。



【予想】

- ・みそが好き
- ・おいしい
- ・かんたんに作れる
- ・実が多い
- ・体によい

みそ汁について調べてみよう。

実際に飲んでみて



みそ汁には、だし、実、みそが入っているんだな。

家庭や地域のみそ汁を調べてみて



地域によって、だしも、実も、みそも違う。地域の特産品が入っているね。

栄養バランスを調べてみて



ご飯とみそ汁は、3つの栄養グループに分けると、バランスがよいね。

調べたことを基に、話し合おう。

家族が喜ぶみそ汁を作るために調べていきたいことは？

- ・いろいろな組み合わせができる
- ・おいしいから受け継がれてきた
- ・日本人好みの味で、口に合う
- ・栄養があって元気になる
- ・あったかくて疲れもとれる
- ・好みに合わせてアレンジできる

【調べていきたい課題】

- ・最高においしいみそ汁の作り方
- ・家族が好きな材料
- ・だしの取り方
- ・材料を入れる順番
- ・実の切り方

みそ汁には、よさがいっぱいだ。みそ汁が作れるようになったら、家族に食べさせたいな。喜んでくれるだろうな。

学びと生活をつなぐ学習指導の在り方

家庭や地域のみそ汁を調べてみて

ぼくの家のみそ汁は何が入っていたかな？あれ？意外と知らないな。

「なぜ日本人は、みそ汁を飲み続けてきたのだろう。」と問い合わせ、みそ汁調べで分かったことを基に仲間と話し合ったことで、みそ汁の多様性やそのよさに気付かせることができた。そのことが、みそ汁のよさを生かして家族が喜ぶみそ汁を作りたいという思いを高め、これから調べていきたい課題をもたせることにつながった。学ぶ対象への考えを広げたり、よさに気付かせたりしたうえで課題をもたせることは、深い学びを実現するために有効な手段の一つであることが分かった。また、みそ汁調べをとおして、自分の家庭のみそ汁について知らないということを自覚させることも、自分の生活を見つめ、問題を発見することや、学びと生活をつなぐうえで大切であることも分かった。

今後の課題

- ストーリー性をもたせた問題解決的な題材構成の在り方
- 自分の生活を見つめる場面での発問や資料提示の仕方

御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）

miyafuken@cc.miayazaki-u.ac.jp

授業実践計画

○ 指導計画（10時間）

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1) 自分の食事をふりかえり、学習課題をもつ。 | 2時間 |
| ・ 米飯について・・・・・・・・・・・1 | |
| ・ みそ汁について・・・・・・・・・・・1（本時） | |
| (2) おいしい米飯とみそ汁の調理の仕方を調べる。 | 4時間 |
| (3) 米飯とみそ汁の本実習を行う。 | 2時間 |
| (4) 家族を作る米飯とみそ汁の計画を立てる。 | 1時間 |
| (5) 家庭実践報告会をする。 | 1時間 |

○ 本時の目標

家庭や地域のみそ汁に入っているだしや実、みそに关心をもち、課題をもって調べていこうとする。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
1 本時学習について話し合う。 ○ みそ汁について ・ みそ汁を飲む割合 ○ 本時の学習問題 なぜ、昔からみそ汁は飲まれ続けてきたのだろうか。 ・ 実がたくさん入れられるから ・ みそが身近にあったから	○ 学級や全国のみそ汁調査を提示し、自分の生活と比較させることで、みそ汁に関する食生活を自分事として考えることができるようにする。 ○ 日本では、昔からみそ汁が飲まれてきたことを伝え、「なぜ日本人は、みそ汁を飲み続けてきたのか。」と聞くことで、本時学習への問題意識を高められるようにする。
2 自分の家庭や地域のみそ汁について調べる。 ○ みそ汁に入っている食品 ・ だし ・ 実 ・ みそ ○ 地域のみそ汁について ・ 自分の家庭のみそ汁（宮崎） ・ 他の地域のみそ汁（北海道、愛知、広島等）	○ 実際にみそ汁を飲ませることで、みそ汁には、だし、実、みそが入っていることに気付くことができるようになる。 ○ 自分の家庭のみそ汁に入っている食品を問うことで、みそ汁について意外と知らないことに気付かせ、学びと生活を結び付けることができるようになる。
3 調べて気付いたことを話し合う。 ○ 気付いたこと ・ 家庭や地域によってだしや実、みそが違う ・ 地域の特産物がみそ汁の実になっている ・ 好みによって違う ○ みそ汁の栄養素	○ だし、実、みその共通点や相違点が分かる一覧表を基に話し合わせることで、地域によって違いがあることや特産物が実になっていること、家族の好みによって違いがあることに気付けるようになる。 ○ みそ汁に入っている食品を栄養素の特徴により3つのグループに分類し、確かめさせることで、米飯にみそ汁を組み合わせると栄養のバランスがよい食事をとれることを理解できるようになる。
4 日本でみそ汁が飲まれてきた理由を考える。 ○ 理由 ・ 米飯に合うから ・ 栄養バランスがよくなるから ・ 好みの実を入れられるから ・ 組み合わせを工夫できるから	○ 調べたことを基に、日本人がみそ汁を飲んできた理由について話し合わせることで、みそ汁の多様性にふれて考えを広げ、みそ汁のよさに気付くことができるようになる。
5 自分の生活を見つめ、これから調べていきたいことを話し合う。 ○ みそ汁の作り方 ○ 家族の好きな実の組み合わせ	○ 題材のゴールで、家族が喜ぶみそ汁を作ることを伝え、どんなことを調べていきたいかを問う。そうすることで、本題材をとおして、課題をもってみそ汁の作り方を追究することができるようになる。

○ めざす子どもの姿

家庭や地域によってみそ汁のだし、実、みそには様々な違いがあるんだな。みそ汁は、栄養があって、実の組み合わせを変えることで、いろいろな工夫ができそうだな。家族が健康で笑顔になるみそ汁の作り方を調べていきたいな。

【態度】

